

(4) 市民アンケート調査

市民アンケート調査の実施概要

調査期間：令和4年9月

配布数：3,000

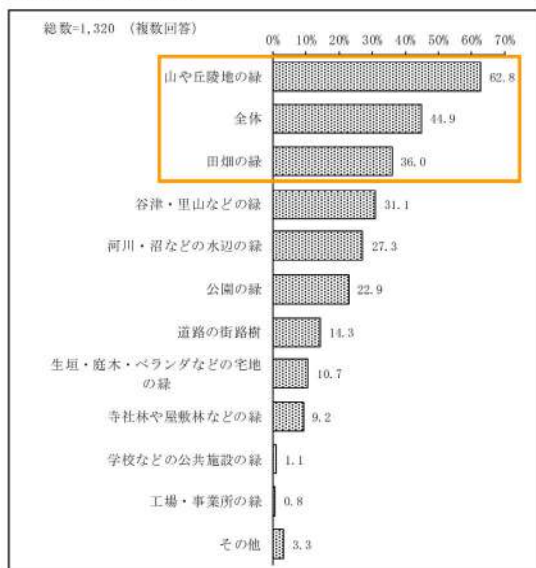
調査対象：市内在住の18歳～79歳（無作為抽出）

回収数：1,320（回収率44.0%）

市民アンケート調査の集計結果概要

■ 佐倉市の緑について

○市全体（問8）



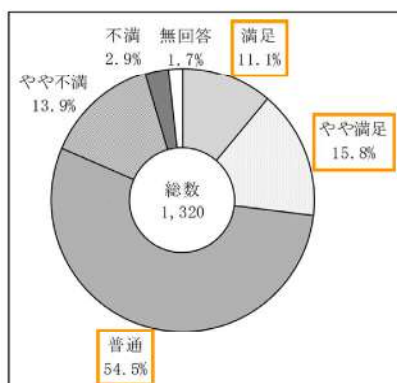
佐倉市の緑が多い場所は、「山や丘陵地の緑」が62.8%で最も多く、「全体」が44.9%、「田畑の緑」が36.0%、「谷津・里山などの緑」が31.1%、河川・沼などの水辺の緑が27.3%、公園の緑が23.0%となっています。

緑が多い場所について、「山や丘陵地の緑」、「田畑の緑」などの『自然のみどり』が多いと思っている人が多くなっています。実際の土地利用状況を見ても、佐倉市内は農地や山林などの『自然のみどり』が多い状況です。

また、「全体」と回答した方が約4.5割で、2番目に多くなっていることから、特定の場所ではなく、市内全体の緑が多いと思っている人が多いことが分かります。

【緑の量について】※

○市全体（問10）

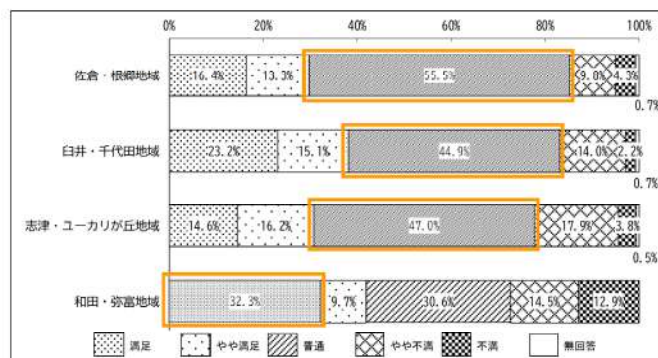


「普通」が約55%で最も多く、「満足」・「やや満足」が約27%で、「不満」・「やや不満」よりも約10%多くなっています。

全体の満足度は、81.4%となっています。

市全体の緑の量は「満足」や「やや満足」の割合が多く、満足度が高い数値となっています。しかし、地域ごとで満足度に最大10%程の差が生じている状況です。

○居住地域別（問6）

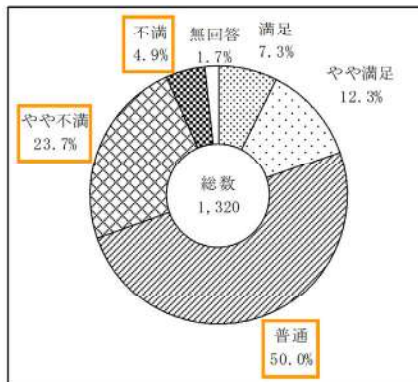


居住地域別でみると、佐倉・根郷地域、臼井・千代田地域、志津・ユウカリが丘地域では「普通」が最も多く、約4割～5割となっています。和田・弥富地域は、「満足」が最も多く約3割となっていますが、一方で「不満」の回答数も最も多く約1割となっています。

地域別の満足度は、佐倉・根郷地域が最も高い85.2%で、和田・弥富地域が最も低い72.6%となっています。

【緑の質について】※

〇市全体（問 11）



「普通」が50%で最も多く、「不満」・「やや不満」が約29%で、「満足」・「やや満足」よりも約9%多くなっています。

全体の満足度は、69.6%となっています。

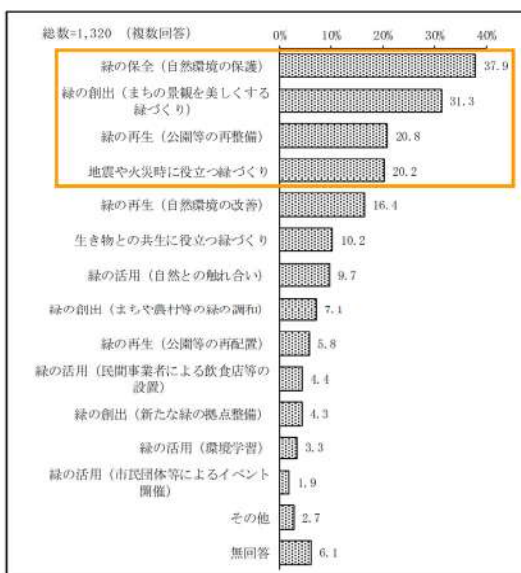
市全体の緑の質は、「不満」や「やや不満」の割合が高くなっている状況です。また、地域別の満足度も最大約20%の差が生じています。

緑の量の満足度は高いものの、それに対して緑の質の満足度は低いため対策が必要です。地域ごとの差が生じないように、地域ごとに対策を講じる必要もあります。

■ 佐倉市の将来像について

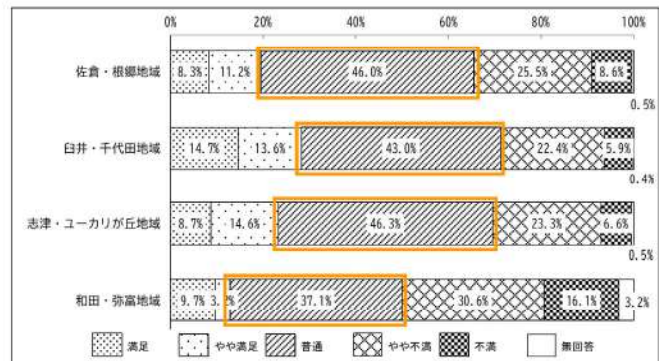
【市が今後目指す緑づくりの目標として特に望むこと】（問 12）

〇市全体



市の緑づくりの目標として、自然保護や景観づくり、公園再整備等を望む人が多くなっています。

〇居住地域別（問 7）



居住地域別でみると、どの地域でも「普通」が最も多く約4割～5割となっています。

地域別の満足度は、臼井・千代田地域が最も高い71.3%で、次いで志津・ユーカリが丘地域で69.6%、佐倉・根郷地域で65.5%となっています。和田・弥富地域は、最も低い50.0%となっています。

〇年齢別

	1位	2位	3位	4位	5位
10歳代～20歳代（n=97）	公園再整備 26票 26.8%	景観 22票 22.7%	自然保護 21票 21.6%	防災 17票 17.5%	自然改善 15票 15.5%
30歳代～50歳代（n=541）	自然保護 200票 37.0%	景観 174票 32.2%	公園再整備 123票 22.7%	防災 105票 19.4%	自然改善 86票 15.9%
60歳代～70歳代（n=668）	自然保護 276票 41.3%	景観 211票 31.6%	防災 144票 21.6%	公園再整備 122票 18.3%	自然改善 113票 16.9%

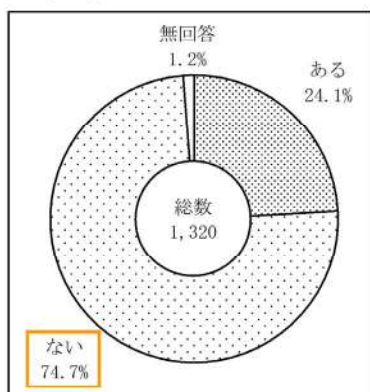
全体では、「緑の保全（自然環境の保護）」が37.9%で最も多く、次いで「緑の創出（まちの景観を美しくする緑づくり）」が31.3%、「緑の再生（公園等の再整備）」が20.8%となっています。

年齢別にみると、30歳代～70歳代では「緑の保全（自然環境の保護）」「緑の創出（まちの景観を美しくする緑づくり）」が多い傾向が見られます。一方、10歳代～20歳代では「緑の再生（公園等の再整備）」が多くなっています。

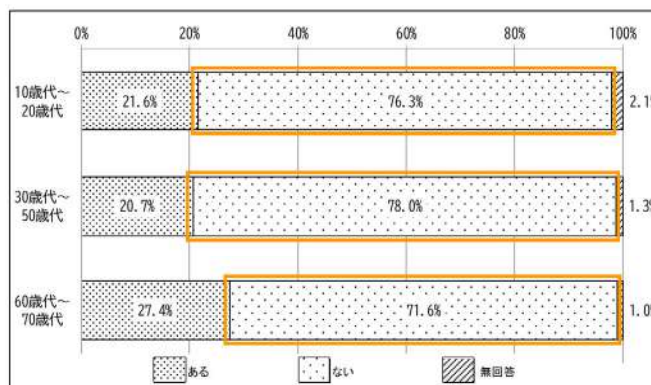
■ あなたと緑の関わりについて

〔緑化活動や自然環境保全活動への参加有無〕（問 13）

○市全体



○年齢別

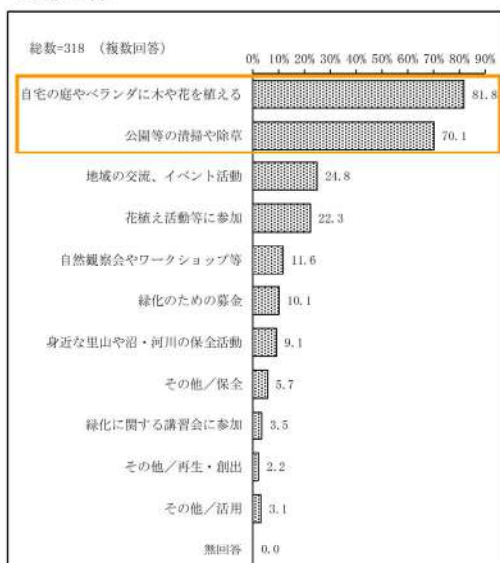


全体で緑化活動や自然環境保全へ参加したことがある人は約 24%、参加したことがない人は約 75%となっています。参加したことがある人は 60 歳代～70 歳代が最も多い約 27%で、10 歳代～50 歳代は約 20%となっています。

市全体として緑化活動や自然環境保全活動への参加の割合は少なく、特に若者のみどりへ触れる機会が少なくなっていることが分かります。

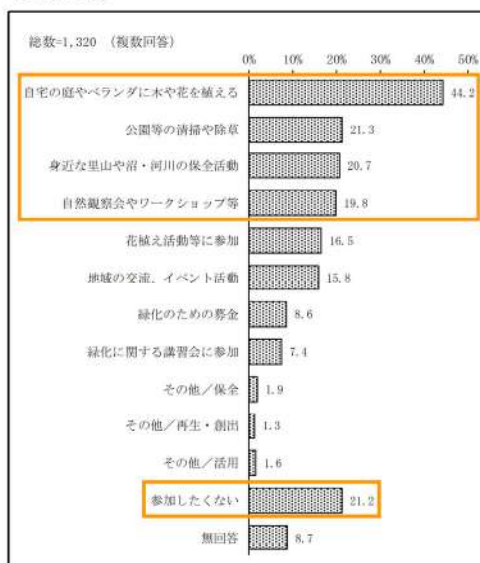
〔参加した活動〕（問 14）

○市全体



〔今後参加したい活動〕（問 15）

○市全体



「自宅の庭やベランダに木や花を植える」と「公園等の清掃や除草」については、参加した活動と今後参加したい活動のどちらでも上位を占めていることから、今後も継続したい活動であることが分かります。

また、「身近な里山や沼・河川の保全活動」や「自然観察会やワークショップ等」については、参加した活動としては少ない割合であるものの、今後参加したい活動として高い割合を占めているため、今後参加したい活動として求められていることが分かります。

【今後参加したい活動】（問 15）

○年齢別

	1位	2位	3位	4位	5位
10歳代～20歳代 (n=97)	自宅の庭やベランダに木や花を植える 36票 37.1%	参加したくない 24票 24.7%	地域の交流、イベント活動 20票 20.6%	身近な里山や沼・河川の保全活動 18票 18.6%	自然観察会やワークショップ等 17票 17.5%
30歳代～50歳代 (n=541)	自宅の庭やベランダに木や花を植える 235票 43.4%	自然観察会やワークショップ等 131票 24.2%	身近な里山や沼・河川の保全活動 121票 22.4%	参加したくない 116票 21.4%	公園等の清掃や除草 112票 20.7%
60歳代～70歳代 (n=668)	自宅の庭やベランダに木や花を植える 307票 46.0%	公園等の清掃や除草 153票 22.9%	参加したくない 138票 20.7%	身近な里山や沼・河川の保全活動 127票 19.0%	自然観察会やワークショップ等 107票 16.0%

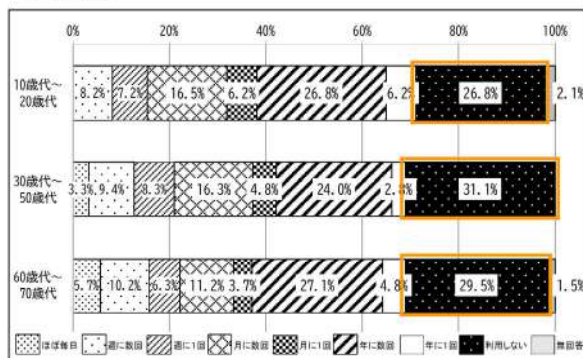
年齢別でみると、どの年代も「自宅の庭やベランダに木や花を植える」が最も多くなっています。また、どの年代も「参加したくない」が約20%を超えています。

市全体でも年齢別でみても、緑化活動や自然環境保全活動へ今後「参加したくない」の回答が20%を超えており、参加意欲が低くなっていることが分かります。今後は、これらの活動への啓発活動等に力を入れる必要があると思われます。

■ あなたと公園の関わりについて

【公園の利用頻度】（問 18）

○年齢別

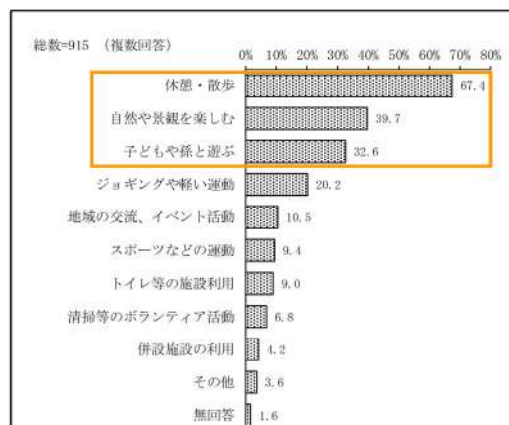


公園の利用頻度は、どの年代も「利用しない」が最も多くなっています。10～20歳代では同率で「年に数回」も最も多くなっています。

公園利用者の利用目的としては、どの年代も「休憩・散歩」が最も多くなっています。10歳代～20歳代は、「ジョギングや軽い運動」や「スポーツなどの運動」などが上位に入っています。30歳代～50歳代では「子どもや孫と遊ぶ」、60歳代～70歳代では、「自然や景観を楽しむ」が2番目に多くなっています。

【公園利用の目的】（問 19）

○市全体



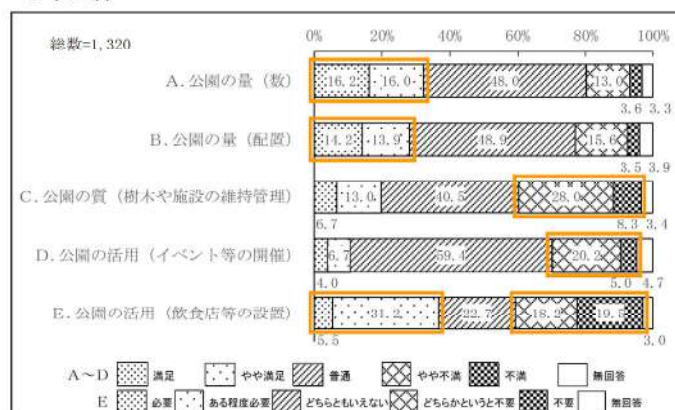
○年齢別（問 19）

	1位	2位	3位	4位	5位
10歳代～20歳代 (n=69)	休憩・散歩 47票 68.1%	ジョギングや軽い運動 16票 23.2%	スポーツなどの運動／自然や景観を楽しむ（同率） 15票		子どもや孫と遊ぶ 11票 15.9%
30歳代～50歳代 (n=373)	休憩・散歩 234票 62.7%	子どもや孫と遊ぶ 156票 41.8%	自然や景観を楽しむ 129票 34.6%	ジョギングや軽い運動 65票 17.4%	スポーツなどの運動 43票 11.5%
60歳代～70歳代 (n=461)	休憩・散歩 327票 70.9%	自然や景観を楽しむ 211票 45.8%	子どもや孫と遊ぶ 127票 27.5%	ジョギングや軽い運動 103票 22.3%	地域の交流、イベント活動 59票 12.8%

どの年代も公園の利用頻度が少なく、利用する人の目的は休憩・散歩が最も多くなっていました。その他に10～20歳代では運動、30～50歳代では子供や孫と遊ぶこと、60～70歳代では自然や景観を楽しむことを目的としている人が多い傾向があります。

【公園の満足度（量や質、活用）、公園の活用の必要度】（問 21）

〇市全体



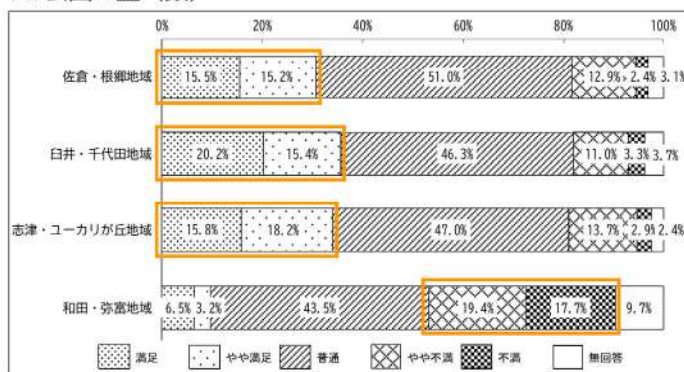
市全体として公園の満足度（「満足」・「やや満足」）は、量（数）が約 32%、量（配置）が約 28%、公園の質（樹木や施設の維持管理）では約 20%、公園の活用（イベント等の開催）では約 11%となっています。

公園の質（樹木や施設の維持管理）と活用（イベント等の開催）については、不満（「不満」・「やや不満」）の割合の方が多くなっています。

公園の活用（飲食店等の設置）の必要度（「必要」・「ある程度必要」）については約 37%となっている一方で、不要（「どちらかという」と「不要」・「不要」）の割合も約 38%となっています。

〇居住地域別

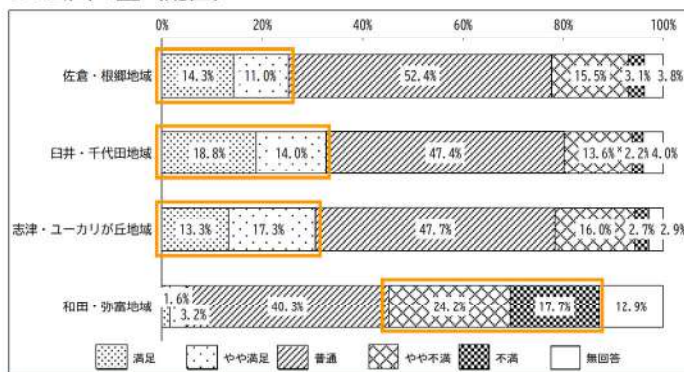
A. 公園の量（数）



居住地域別でみると、公園の量（数）は和田・弥富地域を除く地域で満足度は 30%を超えています。

和田・弥富地域では満足度が最も低い約 10%で、不満（「不満」・「やや不満」）の割合の方が多くなっています

B. 公園の量（配置）



公園の量（配置）は、和田・弥富地域を除く地域で満足度は 25%を超えており、不満（「不満」・「やや不満」）の割合は 15%程度となっています。

和田・弥富地域は満足度が最も低い約 4.8%となっています。また、不満（「不満」・「やや不満」）の割合が約 42%とほぼ半数を占めています。

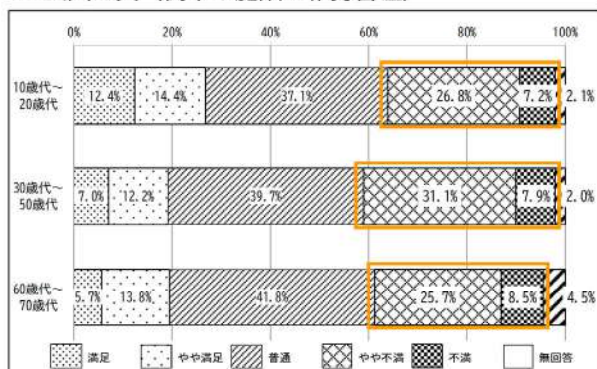
公園の量（数・配置）では、満足度が高くなっていますが、公園の質（樹木や施設の維持管理）では不満と感じている人が多くなっていることから、質の高い公園が求められていることが分かります。公園の活用（イベント等の配置）については不満の割合が多くなっているため、公園の利活用促進が求められていると分かります。

なお、公園の活用（飲食店等の配置）については必要と感じている人と、不要と感じている人の割合がほぼ同じであることから、市民のニーズに合った配置が重要になってきます。

和田・弥富地域では、公園の量（数・配置）ともに不満（「不満」・「やや不満」）の割合が多く、地域の実状にあった公園の配置の対応が必要となります。

○年齢別

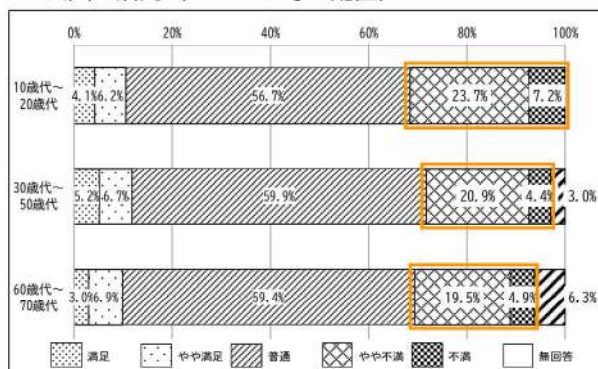
C. 公園の質（樹木や施設の維持管理）



公園の質（樹木や施設の維持管理）は、どの年代も満足より不満（「不満」・「やや不満」）の割合が多くなっています。

30～50歳代の不満の割合が最も多く、約39%を占めています。

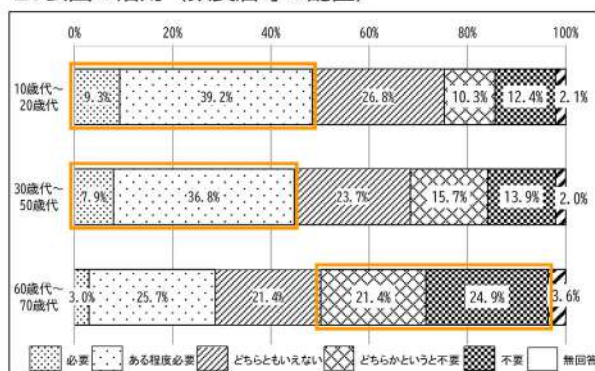
D. 公園の活用（イベント等の配置）



公園の活用（イベント等の配置）は、どの年代も満足より不満（「不満」・「やや不満」）の割合が多くなっています。

10～20歳代の不満の割合が最も多く、約31%を占めています。次いで、30～50歳代が約25%、60～70歳代が約24%となっています。

E. 公園の活用（飲食店等の配置）



公園の活用（飲食店等の配置）の必要度は、10～50歳代では必要（「必要」・「ある程度必要」）の割合が多く、60～70歳代では不要（「不要」・「どちらかというと不要」）の割合が多くなっています。

10～20歳代の必要の割合が最も多く、約49%を占めています。

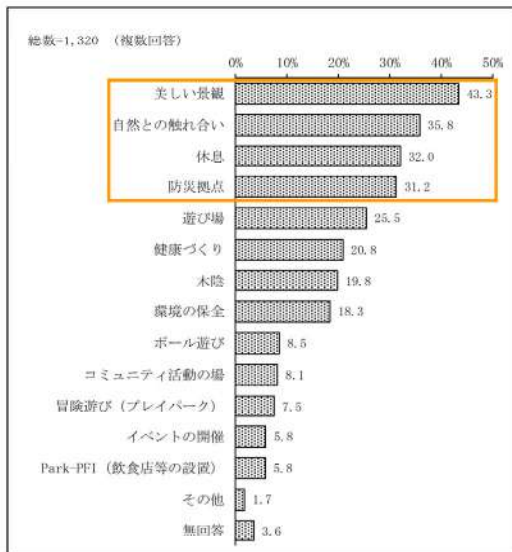
また、60～70歳代の不要の割合が最も多く、約46%を占めています。

公園の質（樹木や施設の維持管理）や公園の活用（イベント等の配置）については、どの世代も不満の割合が多くなっています。質（樹木や施設の維持管理）については30～50歳代、活用（イベント等の配置）については10～20歳代の不満が最も多く、特に若い世代から公園の維持管理や利活用を求められていることが分かります。

公園の活用（飲食店等の配置）の必要度については、10～50歳代で必要の割合が多くなっている一方で、60～70歳代では不要の割合が多くなっています。公園利用者のニーズにあった形で、公園の利活用を促進する必要があります。

【公園に特に求める機能】（問 22）

〇市全体

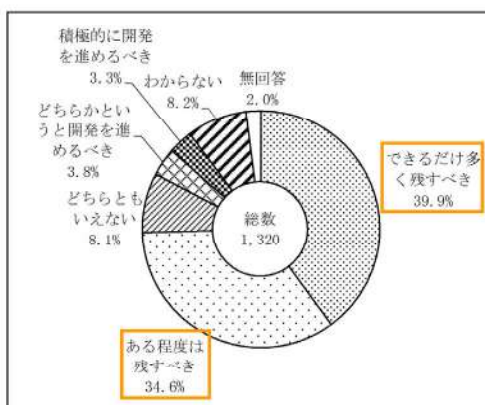


公園にもとめる機能としては、「美しい景観」が 43.3% で最も多く、「自然との触れ合い」が 35.8%、「休息」が 32.0%、「防災拠点」が 31.2% となっています。

■ 佐倉市の農地について

【佐倉市内の農地の保全と開発について】（問 23）

〇市全体



市内の農地の保全と開発については、「できるだけ多く残すべき」が 39.9%、「ある程度は残すべき」が 34.6% となっており、農地に期待することとしては、「地域へ新鮮な食材を提供」が 48.6% で最も多く、「自然環境の保全」が 21.7%、「食育の場」が 12.1%、「街並み・景観への貢献」が 4.8% となっています。

市内の農地については、残して活用しつつ保全することが求められていると分かります。

〇年齢別

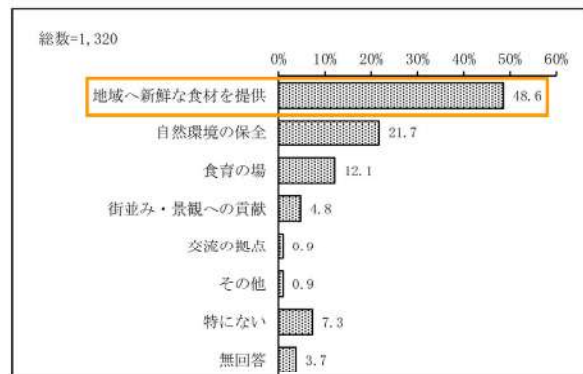
	1位	2位	3位	4位	5位
10歳代～20歳代 (n=97)	美しい景観 43票 44.3%	遊び場 40票 41.2%	休息 27票 27.8%	ボール遊び／自然との触れ合い (同率) 22票	22.7%
30歳代～50歳代 (n=541)	美しい景観 241票 44.5%	遊び場 175票	自然との触れ合い (同率) 32.3%	休息 166票 30.7%	防災拠点 159票 29.4%
60歳代～70歳代 (n=668)	美しい景観 287票 43.0%	自然との触れ合い 269票 40.3%	防災拠点 228票 34.1%	休息 225票 33.7%	健康づくり 183票 27.4%

年齢別でみると、どの年代でも「美しい景観」が最も多くなっています。その他に、10歳代～20歳代は「遊び場」や「休息」、「ボール遊び」、「自然との触れ合い」が多い傾向があります。30歳代～50歳代も同様に「遊び場」や「自然との触れ合い」、「休息」が多くなっており、5番目には「防災拠点」が入っています。60歳代～70歳代は、「自然との触れ合い」や「防災拠点」が上位にあり、「休息」や「健康づくり」も多い傾向があります。

公園に求める機能として、「美しい景観」がどの年代でも最も多くなっています。また、若い世代では「遊び場」、高齢になると「自然との触れ合い」や「防災拠点」が多い傾向があります。

【農地に期待すること】（問 24）

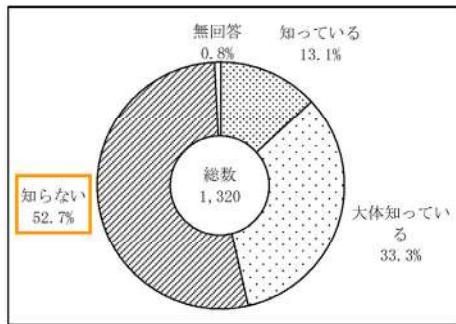
〇市全体



■ 生物多様性について

【生物多様性の認知度】（問 27）

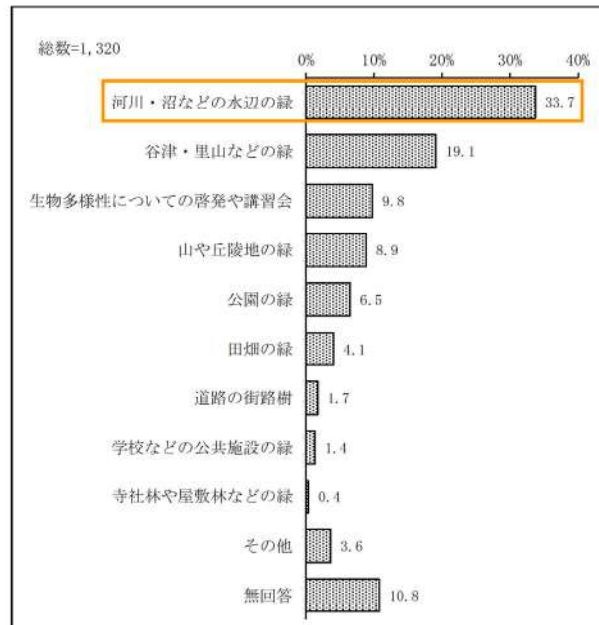
〇市全体



生物多様性の認知度については、「知らない」が52.7%で最も多く、「大体知っている」が33.3%、「知っている」が13.1%となっています。

【佐倉市の生物多様性を守るために重要なこと】（問 29）

〇市全体



生物多様性を守るために重要なことは、「河川・沼などの水辺の緑」が33.7%で最も多く、「谷津・里山などの緑」が19.1%、「生物多様性についての啓発や講習会」が9.8%、「山や丘陵地の緑」が8.9%となっています。

生物多様性について、市全体の過半数が「知らない」と回答しており、認知度が低い状況です。生物多様性の保全のために重要なことは、「河川・沼などの水辺の緑」や「谷津・里山などの緑」、「生物多様性についての啓発や講習会」と考えられています。

「佐倉市緑の基本計画」に関する 市民アンケート調査へのご協力をお願い

平素より、佐倉市政にご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。

「緑の基本計画」とは、緑地の適正な保全及び緑化の推進に関する政策を総合的かつ計画的に実施するため、その目標と実現のための施策等を定める計画です。

本アンケート調査は、佐倉市の緑に関する取組みに対する市民の皆様からの率直なご意見等をお聞かせいただき、計画策定の参考とすることにより、行政サービスの向上を図るために実施するものです。

ご多用のところ大変お手数をおかけしますが、本調査の趣旨をご理解いただき、ご協力いただけますようよろしくお願い申し上げます。

令和4年9月吉日 佐倉市長 西田 三十五

「ご記入に当たってのお願い」

1. ご回答は、封筒のあて名のご本人がお答えください。（令和4年8月9日現在）
2. 本調査は、市内にお住まいの18歳～79歳の方から3,000人を無作為抽出し、調査票をお送りしております。
3. ご回答は、濃い黒鉛筆か、黒または青のボールペン等でご記入ください。
4. ご回答は、あてはまる番号を○印で囲んでください。各設問文に“あてはまる番号1つに○”、“あてはまる番号すべてに○”などと指定してありますので、それに従ってご回答ください。
5. 設問によっては、該当する番号に○をつけた方だけにお答えいただく設問がありますので、その説明に従いご回答ください。
6. 「その他」を選んだ時は、その内容を（ ）内に具体的にご記入ください。
7. ご記入が済みましたら、お手数ですが同封の返信用封筒（切手不要）に入れ、投函期限までにご投函ください。

投函期限：令和4年9月26日（月）まで

本調査への質問または不明な点がございましたら、下記までお問い合わせください。

〈お問い合わせ〉

佐倉市 都市部 公園緑地課 公園活用班

〒285-8501 千葉県佐倉市海隣寺町 97 番地

☎電話：043-484-0940

メール：kouen@city.sakura.lg.jp

FAX：043-485-0108

「佐倉市緑の基本計画」に関する市民アンケート調査 調査票

※本アンケートにおける「緑」とは、公有地・民有地を含むすべての水面・水辺、農地（田・畑・樹園地）、樹林地、草地、公園・緑地、街路樹・植栽地、施設の緑地といった自然環境全体のことを指します。

1. あなた自身のことについて、うかがいます。

問1 あなたの性別はどちらですか。（あてはまる番号 1 つに○）

- | | | |
|-------|-------|--------|
| 1. 男性 | 2. 女性 | 3. その他 |
|-------|-------|--------|

問2 あなたの年齢はおいくつですか。（あてはまる番号 1 つに○）

- | | | | |
|----------|----------|----------|----------|
| 1. 10 歳代 | 2. 20 歳代 | 3. 30 歳代 | 4. 40 歳代 |
| 5. 50 歳代 | 6. 60 歳代 | 7. 70 歳代 | |

問3 あなたのお住まいの地域はどちらですか。（あてはまる番号 1 つに○）

- | | |
|----------------|-------------|
| 1. 佐倉・根郷地域 | 2. 臼井・千代田地域 |
| 3. 志津・ユーカーが丘地域 | 4. 和田・弥富地域 |

2. 佐倉市の緑について、うかがいます。

《あなたが住まいの地域の緑に関して》

問4 あなたが住まいの地域は、どのような緑が多いと思いますか。（あてはまる番号 3 つまでに○）

- | | |
|----------------------|----------------|
| 1. 河川・沼などの水辺の緑 | 2. 谷津・里山などの緑 |
| 3. 山や丘陵地の緑 | 4. 田畑の緑 |
| 5. 公園の緑 | 6. 道路の街路樹 |
| 7. 生垣・庭木・ベランダなどの宅地の緑 | 8. 寺社林や屋敷林などの緑 |
| 9. 学校などの公共施設の緑 | 10. 工場・事業所の緑 |
| 11. その他（ | ） |

問5 あなたがお住まいの地域は、ここ 10 年ぐらいで緑が増えていると思いますか。(あてはまる番号 1 つに○)

- | | | |
|----------|----------|-------------|
| 1. 増えた | 2. やや増えた | 3. あまり変化がない |
| 4. やや減った | 5. 減った | 6. わからない |

問6 あなたがお住まいの地域の緑の“量”について、どう思いますか。(あてはまる番号 1 つに○)

- | | | | | |
|-------|---------|-------|---------|-------|
| 1. 満足 | 2. やや満足 | 3. 普通 | 4. やや不満 | 5. 不満 |
|-------|---------|-------|---------|-------|

※緑の“量”とは、公園や緑地等の“数”や“配置”のことです。

問7 あなたがお住まいの地域の緑の“質”について、どう思いますか。(あてはまる番号 1 つに○)

- | | | | | |
|-------|---------|-------|---------|-------|
| 1. 満足 | 2. やや満足 | 3. 普通 | 4. やや不満 | 5. 不満 |
|-------|---------|-------|---------|-------|

※緑の“質”とは、公園や緑地等の“樹木や施設の維持管理状況”のことです。

《佐倉市全体の緑に関して》

問8 佐倉市全体では、どのような緑が多いと思いますか。(あてはまる番号 3 つまでに○)

- | | |
|----------------------|----------------|
| 1. 河川・沼などの水辺の緑 | 2. 谷津・里山などの緑 |
| 3. 山や丘陵地の緑 | 4. 田畑の緑 |
| 5. 公園の緑 | 6. 道路の街路樹 |
| 7. 生垣・庭木・ベランダなどの宅地の緑 | 8. 寺社林や屋敷林などの緑 |
| 9. 学校などの公共施設の緑 | 10. 工場・事業所の緑 |
| 11. その他 () | |

問9 佐倉市全体では、ここ 10 年ぐらいで緑が増えていると思いますか。(あてはまる番号 1 つに○)

- | | | |
|----------|----------|-------------|
| 1. 増えた | 2. やや増えた | 3. あまり変化がない |
| 4. やや減った | 5. 減った | 6. わからない |

問10 佐倉市全体の緑の“量”について、どう思いますか。(あてはまる番号 1 つに○)

- | | | | | |
|-------|---------|-------|---------|-------|
| 1. 満足 | 2. やや満足 | 3. 普通 | 4. やや不満 | 5. 不満 |
|-------|---------|-------|---------|-------|

問11 佐倉市全体の緑の“質”について、どう思いますか。(あてはまる番号 1 つに○)

- | | | | | |
|-------|---------|-------|---------|-------|
| 1. 満足 | 2. やや満足 | 3. 普通 | 4. やや不満 | 5. 不満 |
|-------|---------|-------|---------|-------|

3. 佐倉市の将来像について、うかがいます。

問 12 佐倉市が今後目指す緑づくりの目標として、どのようなことを特に望みますか。

(あてはまる番号 2 つまでに○)

1. 緑の保全 (自然環境の保護)	2. 緑の再生 (自然環境の改善)
3. 緑の再生 (公園等の再整備)	4. 緑の再生 (公園等の再配置)
5. 緑の創出 (新たな緑の拠点整備)	6. 緑の創出 (まちや農村等の緑の調和)
7. 緑の創出 (まちの景観を美しくする緑づくり)	8. 緑の活用 (自然との触れ合い)
9. 緑の活用 (環境学習)	10. 緑の活用 (市民団体等によるイベント開催)
11. 緑の活用 (民間事業者による飲食店等の設置)	12. 地震や火災時に役立つ緑づくり
13. 生き物との共生に役立つ緑づくり	
14. その他 (	)

4. あなたと緑の関わりについて、うかがいます。

問 13 あなたは、緑化活動や自然環境保全活動に参加したことがありますか。(あてはまる番号 1 つに○)

1. ある ⇒問 14 へ	2. ない ⇒問 15 へ
---------------	---------------

問 14 問 13 で『1. ある』とお答えの方にうかがいます。どのような活動に参加したことがありますか。

(あてはまる番号 すべてに○)

に 緑の 関 保 し 全 て	1. 公園等の清掃や除草 2. 身近な里山や沼・河川の保全活動 3. その他 ()
に 緑の 関 再 し 生・ て 創 出	4. 花植え活動等に参加 5. 緑化に関する講習会に参加 6. 緑化のための募金 7. 自宅の庭やベランダに木や花を植える 8. その他 ()
に 緑の 関 活 し 用 て	9. 地域の交流、イベント活動 10. 自然観察会やワークショップ等 11. その他 ()

問 15 あなたが今後参加したい活動はありますか。（あてはまる番号すべてに○）

に 関 し て 緑 の 保 全	1. 公園等の清掃や除草 2. 身近な里山や沼・河川の保全活動 3. その他（ ）
に 関 し て 緑 の 再 生 ・ 創 出	4. 花植え活動等に参加 5. 緑化に関する講習会に参加 6. 緑化のための募金 7. 自宅の庭やベランダに木や花を植える 8. その他（ ）
に 関 し て 緑 の 活 用	9. 地域の交流、イベント活動 10. 自然観察会やワークショップ等 11. その他（ ）

⇒問 17 へ

12. 参加したくない ⇒問 16 へ

問 16 問 15 で『12. 参加したくない』とお答えの方にうかがいます。参加したくない理由を教えてください。

（あてはまる番号 1 つ に○）

1. 時間がない	2. 興味がない	3. 現状に満足	4. 市でやるべき
5. その他（ ）			

問 17 緑と関わるうえで、市に特に支援してほしいことは何ですか。（あてはまる番号 2 つ までに○）

1. 普及啓発（講習会等の開催）	2. 人材育成（研修等の開催）
3. 人的支援（イベント等の開催支援）	4. 物的支援（花苗等の配布）
5. 金銭的支援（緑化資金等の助成）	6. 特に必要ない
7. その他（ ）	

5. あなたと公園の関わりについて、うかがいます。

問 18 あなたは、公園をどれぐらいの頻度で利用しますか。（あてはまる番号 1 つ に○）

1. ほぼ毎日	2. 週に数回	3. 週に 1 回	4. 月に数回
5. 月に 1 回	6. 年に数回	7. 年に 1 回	⇒問 19 へ
8. 利用しない ⇒問 20 へ			

問 19 あなたは、公園をどのような目的で利用しますか。（あてはまる番号 3 つまでに○）

1. 休憩・散歩	2. 子どもや孫と遊ぶ	3. ジョギングや軽い運動
4. スポーツなどの運動	5. 地域の交流、イベント活動	6. 併設施設の利用
7. トイレ等の施設利用	8. 自然や景観を楽しむ	9. 清掃等のボランティア活動
10. その他（ ）		

⇒問 21 へ

問 20 問 18 で『8. 利用しない』とお答えの方にうかがいます。公園を利用しない理由を教えてください。

（あてはまる番号 3 つまでに○）

1. 近くに公園がない	2. 公園に行く時間がない
3. 魅力ある公園がない	4. 利用したい施設がない
5. 子どもが大きくなった	6. 公園でやりたいことがない
7. 防犯上の不安	8. 利用したいが他の人が使っていることが多い
9. その他（ ）	

問 21 あなたは、公園の量（数／配置）や、質（樹木や施設の維持管理）、活用（イベント等の開催／飲食店等の設置）について、どう思いますか。（それぞれあてはまる番号 1 つに○）

【 A. 公園の量（数） 】				
1. 満足	2. やや満足	3. 普通	4. やや不満	5. 不満
【 B. 公園の量（配置） 】				
1. 満足	2. やや満足	3. 普通	4. やや不満	5. 不満
【 C. 公園の質（樹木や施設の維持管理） 】				
1. 満足	2. やや満足	3. 普通	4. やや不満	5. 不満
【 D. 公園の活用（イベント等の開催） 】				
1. 満足	2. やや満足	3. 普通	4. やや不満	5. 不満
【 E. 公園の活用（飲食店等の設置） 】				
1. 必要	2. ある程度必要			
3. どちらともいえない	4. どちらかというとな必要			
5. 不要				

問 22 あなたが公園に特に求める機能は何ですか。(あてはまる番号 3 つまでに○)

- | | | |
|--------------------------|-------------|------------------|
| 1. 遊び場 | 2. ボール遊び | 3. 冒険遊び (プレイパーク) |
| 4. 健康づくり | 5. 休息 | 6. 自然との触れ合い |
| 7. コミュニティ活動の場 | 8. 防災拠点 | 9. 美しい景観 |
| 10. 環境の保全 | 11. 木陰 | 12. イベントの開催 |
| 13. Park-PFI (飲食店等の設置) ※ | 14. その他 () | |

※『Park-PFI』とは、都市公園の質や利便性の向上のため、飲食店や売店等の公園施設の設置と、その利益を活用して広場や園路等の整備を一体的に行う者を、公募より選定する「公募設置管理制度」のことです。

6. 佐倉市の農地について、うかがいます。

問 23 あなたは、佐倉市内の農地の保全と開発について、どう思いますか。(あてはまる番号 1 つに○)

- | | |
|-----------------|--------------------|
| 1. できるだけ多く残すべき | 2. ある程度は残すべき |
| 3. どちらともいえない | 4. どちらかという開発を進めるべき |
| 5. 積極的に開発を進めるべき | 6. わからない |

問 24 あなたが農地に期待することは何ですか。(あてはまる番号 1 つに○)

- | | | |
|----------------|------------|------------|
| 1. 街並み・景観への貢献 | 2. 交流の拠点 | 3. 食育の場 |
| 4. 地域へ新鮮な食材を提供 | 5. 自然環境の保全 | 6. その他 () |
| 7. 特にない | | |

問 25 あなたは、農とどのようなふれあい経験がありますか。(あてはまる番号 すべて に○)

- | | | |
|---------------|---------------|-----------------|
| 1. 市民農園の利用 | 2. 農業体験農園の利用 | 3. 営農ボランティアへの参加 |
| 4. 農業イベントへの参加 | 5. 自宅での野菜作りなど | 6. その他 () |
| 7. 特にない | | |

問 26 あなたは、今後どのようなかたちで農に関りたいと思いますか。(あてはまる番号 3 つまでに○)

- | | | |
|---------------|---------------|-----------------|
| 1. 市民農園の利用 | 2. 農業体験農園の利用 | 3. 営農ボランティアへの参加 |
| 4. 農業イベントへの参加 | 5. 自宅での野菜作りなど | 6. その他 () |
| 7. 特にない | | |

7. 生物多様性について、うかがいます。

問 27 あなたは、生物多様性について知っていますか。（あてはまる番号 1 つに○）

- | | | |
|----------|------------|---------|
| 1. 知っている | 2. 大体知っている | 3. 知らない |
|----------|------------|---------|

※『生物多様性』とは、生きものたちの豊かな個性とつながりのことです。生物多様性条約では、生態系の多様性・種の多様性・遺伝子の多様性という3つのレベルで多様性があるとされています。

問 28 生物多様性は、緑のまちづくりにとって重要だと思いますか。（あてはまる番号 1 つに○）

- | | | | |
|----------|-------------|--------------|----------|
| 1. とても重要 | 2. あまり重要でない | 3. どちらともいえない | 4. わからない |
|----------|-------------|--------------|----------|

問 29 佐倉市の生物多様性を守るためには、何が重要だと思いますか。（あてはまる番号 1 つに○）

- | | |
|---------------------|----------------|
| 1. 河川・沼などの水辺の緑 | 2. 谷津・里山などの緑 |
| 3. 山や丘陵地の緑 | 4. 田畑の緑 |
| 5. 公園の緑 | 6. 道路の街路樹 |
| 7. 寺社林や屋敷林などの緑 | 8. 学校などの公共施設の緑 |
| 9. 生物多様性についての啓発や講習会 | |
| 10. その他（ | ） |

8. その他

■ 最後に、佐倉市の緑のまちづくりに関してご意見・ご要望等がございましたら、ご自由に記入してください。

アンケートは以上になります。ご協力ありがとうございました。

返送につきましては、調査票を折りたたみ同封の返信用封筒（切手不要）に入れ、

令和4年9月26日（月）までに郵便ポストに投函してください。

※調査票や返信用封筒に、氏名や住所等をご記入いただく必要はありません。

(5) 用語集

行	用 語	説 明
あ	アセットマネジメント	「アセット（＝資産）」、「マネジメント（＝運用・管理）」とは、公園や道路などの公共施設について、将来的な損傷・劣化等を予測・把握し、最も費用対効果の高い維持管理を行う考え方のこと。
か	既存ストック	ストックとは「在庫」を意味し、今まで整備されてきた公園や緑地などのこと。
	警戒区域	土砂災害防止法（正式名称：土砂災害警戒区域等における土砂災害防止対策の推進に関する法律）第 7 条及び第 9 条に基づき、千葉県により、佐倉市内 204 か所の急傾斜地について区域指定された区域のこと。
さ	里山	原生的な自然と都市との中間に位置し、集落とそれを取り巻く二次林、それらと混在する農地、ため池、草原などで構成される地域のこと。
	市街化調整区域	都市計画区域において、市街化を抑制すべき区域のこと。
	指定管理者制度	地方自治法の一部改正(平成 15 年 9 月)により、それまで公的団体等に限られていた公の施設の管理について、法人その他の団体を期間を定めて指定し、その管理を代行させることで、民間の能力を活用しつつ、住民サービスの向上と経費の節減等を図ることを目的として創設された制度のことです。
	浸水想定区域	想定される最大規模の降雨によって、利根川、高崎川および印旛沼流域の河川が氾濫した場合に、浸水が想定される区域のこと。
	ストックマネジメント	資産や施設を対象に点検・調査を行い、施設の状況を的確に把握し、中長期的な施設の状態を予測しながら、計画的かつ効率的に管理すること。
	生産緑地地区	生産緑地とは、市街化区域内の農地で、良好な生活環境の確保に効用があり、公共施設等の敷地として適している農地として指定するもの。 良好な都市環境の形成のため、今後とも保全する農地等として、生産緑地法に基づき指定された区域のこと。
	生物多様性の保全に資する地域（OECM）	OECM（Other Effective area-based Conservation Measures）とは、公的な保護地域以外で生物多様性保全に資する地域のこと、里地里山や社有林、社寺林など、企業や団体によって生物多様性の保全が図られている土地が対象となる。

行	用 語	説 明
た	特定外来生物	外来生物（海外起源の外来種）であって、生態系、人の生命・身体、農林水産業へ被害を及ぼすもの、または及ぼすおそれがあるものの中から指定される。
	都市公園	都市計画区域内に地方公共団体が設置した公園、緑地や墓園及び都市計画区域外に都市計画決定し開園したもの。
	都市緑地法	都市において緑地を保全するとともに緑化を推進することにより良好な都市環境の形成を図り、健康で文化的な都市生活の確保に寄与することを目的として制定されており、都市における緑地の保全及び緑化の推進に関する制度等が定められている。
な	Nature-based Solutions：NbS	自然を基盤とした解決策として、社会課題に効果的かつ順応的に対処し、人間の幸福および生物多様性による恩恵を同時にもたらす、自然の、そして、人為的に改変された生態系の保護、持続可能な管理、回復のため行動のこと。
	ネイチャーポジティブ	ネイチャーポジティブ（Nature Positive）とは、地球規模で生物多様性の損失に歯止めをかけ、自然資本をむしろプラスに増やしていくこと。
	ネーミングライツ	契約により施設の名称に企業名や商品名を冠した愛称を付与する代わりに、ネーミングライツを取得した企業等から対価を得て、施設の運営維持と利用者のサービス向上を図るもの。
は	Park-PFI	公募設置管理制度（Park-PFI）とは、都市公園において飲食店、売店等の収益施設の設置又は管理を行う民間事業者を公募により選定する制度のこと。
	ビオトープ	動物や植物が安定して生活できる生息空間（生物生息空間）のこと。ドイツで生まれた概念で、「bio（命）」と「topos（場所）」というギリシア語を組み合わせた造語。
	包括施設管理業務委託	地方公共団体が保有する域内公共施設の設備点検・清掃業務等を一括管理する契約形態のこと。
や	谷津	台地や丘陵地にできた細長い侵食谷のこと。 下総台地の成田層と呼ばれる厚い砂層から構成され、地形的には、平らな船底型の谷が特徴となっている。
ら	緑地協定	都市緑地法に基づく制度で、土地所有者等の合意によって緑地の保全や緑化に関する事項を締結する協定のこと。